

**第5世代移動通信システム（5G）等の新たな電波利用ニーズに対応するための  
臨時の電波の利用状況調査に関する告示案の意見募集に対して提出された意見及び総務省の考え方**

**【提出意見】**

2件（件数は意見提出者数）の提出意見がありましたので、意見提出者ごとに、提出された意見及び総務省の考え方を以下に示します（提出順）。

No.	意見提出者	案に対する意見及びその理由	総務省の考え方	提出意見を踏 まえた案の修 正の有無
1	個人	<p>「5G（第5世代）」における構造では、「試験方法及び実験方法」を高度化し、付加価値の高い「データ（数値）」を収集する事で、「戦略（ストラテジー）」を描く事が望ましいと、私は思います。「試作（プロトタイプ）」から「量産（プロダクト）」での構造の工程では、「ウォーターフォール（上流から下流での工程）」及び「アジャイル（工程的な0ベース設計及び工程的なベンチマーク設計）」の工程では、全体的な要素での「ロジスティック（兵站）」を導入し、「ストラテジー（戦略）、オペレーション（作戦）、戦術（タクテック）」等から成る構造を描くべきと、私は考えます。具体的には、「センサー技術、ネットワーク技術、デバイス技術」から成る「CPS（サイバーフィジカルシステム）」の導入で、「ゼネコン（土木及び建築）、船舶、鉄道、航空機、自動車、産業機器、家電」等の構造が融合される事と、私は考えます。要約すると、垂直思考での高い付加価値に対し、効率性を上げる為には、平行思考での無駄を削ぎ落とす事で、垂直思考での生産性を向上させる構造と、私は考えます。</p>	<p>本告示案は、5G等の新たな電波利用ニーズに対応するための臨時の電波の利用状況調査に関するものです。</p>	無
2	一般社団法人電子情報技術産業協会 ITS 事業委員会	<p>第5世代移動通信システム等の早期実現および周波数の有効利用の必要性については理解いたします。</p> <p>しかしながら、5.77GHzを超え5.925GHz以下の周波数帯のうち、5.770GHzから5.850GHzは、すでに有料道路料金決済等を行うETC/ETC2.0で使用されているDSRCシステムに割り当てられております。</p> <p>ETC/ETC2.0は、全国での装着率が90%を越えているなど、社会的にも重要な公共サービスとなっております。</p> <p>そのため、自動車走行における利便性・安全性確保の観点からも、既存システムに影響が出ないよう、技術検討を十分に行っていただくことを要望いたします。</p>	<p>臨時の電波の利用状況調査については、5G等の新たな電波利用システムと既存無線システムとの高度な周波数共用等の施策の推進を目的として、まずは既存無線システムの利用実態等の詳細を把握するために実施するものです。</p> <p>また、高度な周波数共用等に当たっては、ご指摘を踏まえ、既存無線システムに影響が生じないよう十分に配慮しながら検討を進めていく必要があると考えております。</p>	無